



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆の授業を受けて、もう一度「原爆」がおこらないと良いなと  
 心から感じました。先生の話を聞いていて、「なぜ、日本は攻撃された  
 のだろう」と思いました。また「広島」や「長崎」をねらったのはなぜか  
 気になっていたけど、直径5mを超えていて平野で空襲が無かったから  
 ねらわれたということが良く分かりました。太陽までもあついで  
 はくたんが落ちてくると知って、すごくビクビクしました。ビデオで  
 一瞬間で人が消える所でも、原爆のすごさを感じました。それに、  
 フルマボールたった1個で広島市の全体を火の海にしてしまう  
 なんて信じられませんでした。60kgのうち1kgしかはくたん  
 してはなかったと話していたけど、60kg全部がはくたん  
 したらどうなるのか気になりました。私はこの「平和」な  
 時代に生まれて、すごく恵まれてるんだなと実感しました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆のせいで人の命がうばわれたり、  
 7000℃の暑さですごく苦しい思いをした  
 ことを知った。それは、ただ暑いだけでなく、  
 はだか、はがれおちるなど、考えられない  
 ことだった。しかし、国としては、仲良くすれば  
 いいのにどうして、原爆を落としたりした  
 のかと疑問に思った。この授業で、原爆の  
 こわさを知った。ぐうぜん、電話局のトイレ  
 にいたことで命が助かったのは、すごく  
 運がよかったのだと思う。こういうこと  
 は、あまりしれないことなので、いい糸至馬  
 になったと思う。17才で、陸軍に入った  
 池田義三さんの本人の言葉も動画で見  
 て、すごいこわくておそろしいことだったこ  
 とが伝わった。

原爆



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

- ・ たった一つのはくたん<sup>じゅこ</sup>で、これだけたくさんの方が亡くなり、たくさん苦しんだことを知りました。
- ・ 太陽が600m上にまで来た、と考えると、びっくりしました。
- ・ 1kgのウランでたくさんの方が亡くなったのに、それが今は1000倍の力があるものが、世界でたくさんあるのは、とても危いんで、おそろしいと思いました。
- ・ 外国の人や、これから生まれてくる人たちは、まだ知らないと思うから、教えてもらった私たちが、伝えていきたいと思います。
- ・ 今、私たちはとてもめぐまれていて、今の日本、とても平和だと思いました。
- ・ はくたんは、熱の後に衝撃がきてその後に放射線がくるから、なんじゅうにもなんじゅうにもくり返されるから、ひどいと思います。
- ・ 広島の人70%の人が被爆され、40%の人が亡くなったと知り、おどろきました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

原子爆弾投下都市の条件の空襲がなかったというのに驚きました。広島の空襲について2つありました。一つは、投下された原爆についてです。広島に投下されたリトルボーイが太陽の温度よりも1000℃高のが驚きました。原爆がおちたときの家の様子や人々の様子が想像できません。なにより一番驚いたのは、原爆がおちた時、一しゅんで川がふっとうすることです。川が一しゅんでふっとうするなんて、あまり想像できませんでした。二つ目は、人々の様子です。やけどした人の様子の表現が分かりやすかったので、その時の人々の様子がものすごく分かりました。戦争は、人がっらい思いをするものだ、とても伝わってきました。戦争で助かった人も、亡くなった人も、その時は、戦争は、いやだと思っています。



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いたらいろいろなことが分かりました。広島に投下されたリトルボーイという原子爆弾は、「リトル」とは小さいという意味だけとせんぜん小さくなんかないと思いました。そして、一番おどろいたのが、太陽の表面温度より熱い熱線の原子爆弾はふくらんで直径200mにまでなるとその表面7000℃、中は10000℃で600m下でも3000℃の熱さを感じます。本当に近くにいたら私はとけてしまうのでしょうか。原爆先生の授業はとてもためになる授業でした。ほかの学校でもすごい話を聞いてあげてくれたか。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆のお話を聞いて私は原爆がとても大変だった  
 ことがよく分かりました。理由は死んだ人をたくさん  
 ねこんだりしているから大変だと思いました。あと、世  
 田義三さんが17歳で班のリーダーをしてい  
 てすごいなあと思いました。お話を聞いて私は  
 戦争がすくとおささない平和な世界がいいと  
 ほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

- ・7000℃の少年が原爆のリトルボーイ  
だということが分かりました。
- ・京都がこうほになつたのに、除染したとい  
うのが、少しアメリカの真似なのかな?と思  
った。
- ・電話局の土壌下のトイレにいた人がたまた  
まというのが、キセキだと思った。
- ・お父さんの話をし、泣いてしまったこと  
なじが悲しかった。
- ・太陽よりも暑いということかビックリした。  
ウランの量によるものだと思う。
- ・たんで60kgも入っていたのに1kgしかない  
のだらうと思った。
- ・死亡率が90%ということは、  
当時の25万人?が原爆くしょうにあつて  
いると思うが、生き残る人が  
少ないので、今日聞いたことを  
次の世代につたえなければならぬと思  
った。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆先生の話を聞いて思ったことは、原爆のおそろしさを知った。原爆の温度は7000℃、そして中心は100万℃と、太陽より熱くなることを知った。そして、地面が3000℃と真中になるというおそろしさはまるで想像できない。そして、熱線の他にも衝撃波や放射線などのえいぎょうがあることを知った。候補になった都市で最初落とそうとしていたところがまさかの京都でおとされた。ウランの重さ1kgの大きさがゴルフボールほどの大きさだということを知った。また池田義三さんは広島原爆博物館を見て、まだキレた。とっていることを考えると、原爆の被爆者はどんなにかんじたのだろうか。自分にはそうそうできない。世界に原爆の千倍ものいかりがある爆弾が1万5000個あることを知った。なのでもう戦争は起さしてはいけないと思った。





じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生がいっていたことがとてもこあく感じ  
ました。ちょっとだけ大きいだけなのに、まんまにひ  
どくなるなんておもいませんでした。原爆は  
-4匹のひよこがどろどろとしていたものが、きれい  
すぎる、といったことは、今でもたまのなかにふか  
くのこ、ていませう、えんのかときもとても工夫さ  
れていて、原爆がおうてきたときの、ドーンみた  
いなおとに、すこくおとりましたけれど、本当  
にそのおそろしさを知っている人は、もう一人の  
できごとなのだと感じました。原爆の中のもの  
をよく知る人ができました。ウラニウラニと  
いうのが、こんなはくはをおとしている  
ということがとてもいんしょう  
まじでした。床を叩く音が、おとると  
はなししていたとき、すこく、「ツツ」と  
きました。まんまにかなしいことかす  
たということは今、ほくとかは、とてもお  
せたい、ということが、わかり  
ました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

わたしは、原爆先生の授業を聞いて、その当時を想像して、  
苦しい気持ちや苦痛などと考えて、本当に大変だったな  
と、思いました。<sup>てくなった人</sup>19万人中、2万人の人が一瞬で<sup>て</sup>なくなっ  
てしまったと聞いて、驚きました。今日の話と聞くまでは、  
原爆の大変さなど、考えたことがありませんでした。  
ゴルフボールの大きさの物が広島を飛びかいた  
など想像もつきませんでした。  
太陽よりも、1000℃も熱い物が上空600m上にあつたら  
びごくにいるみたいになるんだなと感じました。  
地上での熱さは、3000℃と聞いて、お風呂の湯舟のお湯も  
あついとわたしは感じるのに3000℃という温度はあつい  
どころじゃないと聞いてるだけで苦しくなりました。  
爆弾が、おろる時のビデオを見て、こわくてたまらなくなっ  
ました。それをじっさいに体験した人ほど考えると  
悲しくなります。わたしはこの授業で爆弾の大変さを  
聞き、その時を想像し気持ちを考えることもできたので  
その大変さを知ることができました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は先生に授業をやってもらって自分の想像以上に原子爆弾がおそろしいことがわかりました。一番びっくりしたのは9日間死体ので、きょ作業をしていたのがおどろきました。広島におとされた爆弾がすごい、いりやくで人がいた所に黒くたまってたのがびっくりしました。

地上600mの高さで7000tのあつさが爆弾はつたらさめいと思います。原子爆弾を3つの条件があるのがびっくりしました。

爆弾をおとす候補になつた3つの都市の中でおとすじゅんばんは1広島2小倉3長崎のじゅんばんで1の気こうがわるかたが2。2の気こうがわるかたが3。こうして爆弾がおとされていく所がきまっていたのは初めてしりました。ゴルフボールほどの大きさしか爆はつてないのにたくさんの人がなくなつてしまつたのが悲しいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

思ったこと！日本の中の広島を中心的にのこした。
ほくは死亡者や被害者をたくさんだせせたアメリカがゆるせない
原爆先生の話を聞いてよくわからななだけれか話を聞いて
原爆のことがより深く知ることができたと同時にアメリカのにくしめ
が広まった。

馬鹿なこと！原爆が火を破したときの天空の表面の熱さが7000度
(太陽おとそ6000)原爆は太陽よりも熱いということにびっくり！
してしまいました。

感想！原爆先生のおかげでよくしなれた
けんはくのことをしることができた。
だから今の生活は平和！ということも表すために実感できて
よかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

なぜ目と耳をおさえるのであか?

広島と長崎では、なぜ違う種類の原子爆弾を投下したのであか?

なぜ2回も投下したのであか?

今回「原爆先生の特別授業」を受講して、今の世の中が平和である素晴しさ、そして今、この時代<sup>じゅこう</sup>に生まれてこられた幸福さを実感しました。

実際に経験していなくても、戦争のおそろしさや、原子爆弾のあさましい破壊力が分りました。

先生が、原爆投下の再現の音声をやったとき、とてもよかったです。でも、実際は、熱線や衝撃波、放射線をあびているから私たちには、想像のできないほどのものだったのだなと思っています。

今日、学んだ事を頭の中に入れておきなから、今後生活していきたいなと思います。

ありがとうを言いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆のことを知って、すごくこわいと思いました。特に、お父さんの話でトラックの荷台に被爆者を乗せてあげたいけど、手と手がはなれて助けられなくなってしまうことや、川の中の死体をはこんだことなど、とてもつらいことだと思いました。  
これから原爆がなくなるといいですね。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

おどろいたこと、考えたこと

- ・池田真徳さんのお父さんは4才も早く兵隊になっていった。
- ・戦争は本当に怖く、危ないだから二度とくりがえしてほ  
いけない。
- ・原子爆弾を落とすとはしてから原子爆弾を  
とばすとが分かったりました。
- ・ウランはゴリゴリの大きさで1kgで広島が焼跡に  
なるのを知りました。
- ・ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

7000℃という言葉がタイトルにあったので  
すぐに原爆という文字が浮かんできました。  
当時は、21才から陸軍へ入るのに17才で陸軍に  
入ったことがおどろきました。それほど戦争が大変  
だったのだと思う。なぜ原子爆弾を落とす所の条  
件を決めたのだろうか。京都が候補に一番上がっ  
ていたのに文化が多いという理由で落とさな  
かったのなら全ての県にたくさんの文化があれば  
爆弾は落とさなかったのだろうか。リトルボー  
イをなぜ地上で爆発させなかったのだろうか。  
爆発ではろつた事が起こるということが  
分かった。爆発のリトルボーイはろつたのに200mにな  
るとは思っていなかった。太陽より熱いなら人間  
が死ぬのは当たり前。衝撃波の速さは音速より  
速い事におどろいた。爆弾はあってはいけない  
物だと思う。ウランが60kgが爆発ただけだ  
から60kgはくはしたら日本がやばかったと思う。  
きせきだと思う。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくが、原爆の話を聞いて一番おどろいた事は、スカイツリーくらいの高さに太陽と同じくらいの熱さの玉の形のものができるといことです。よくそんなものをアメリカがおとせたなと思いました。7000℃なんて温度かんがえたことありませんでした。原爆のこわさをあらためてしりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

・兵隊に助けを求めた人がたくさんいたことがわかりました。

・ウランのほうき量一キログラムだけで、広島市人口が35万人もいるのに、被爆者が24万人もいてびっくりしました。

・死者14万人いた内の2万人は一しゃんの内に死んでいたのに、びっくりしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島は原爆はひどいことはいりました  
が、今日の池田さんの話をきいて、おもしろい  
以上にひどかったのだとびっくりしました。

トラックに乗っていると真赤になった人が、こ  
ちにきこえかけと... かけと... 兵隊いさん... かけと...  
と池田さんの父に言え、"きこえ"よるとすると  
ひびか"ぼろぼろ"になる。このことだけでも  
想像するだけでおもしろいです。

さらに死体をさがすときぼろが氷るの中にひ  
びをかかえた人の死体が次々に見つかるそ  
うです。やはりそのことをそろそろするだけで背中  
が"グツ"としました。次に原爆が爆発した中心  
は100万°もあり表面は7000°だそうです。ほぼ  
太陽と同じくらいといっていました。

改めて原爆はこわいと思いました



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

思ったこと → 戦争は、せつたいにやめてはいけないことだと思いました。

驚いたこと → 0.3~4000℃の中で、人は焼けないで、残ることがあることに驚きました。

○人の肉も、『ずる』とはがれてしまうことにも驚きました。

○本当は、21才から兵士になるはずなのに、17才で兵士になったということ。

○原爆の中のウランが60kgもあるのに、1kgしか、ねんはうしなかつたことに驚きました。

疑問に思ったこと → ○なんで、肉が必然けて、助からないと思っていて、も助けるという言葉のかなと思いました。

○なんで、広島、長崎、小倉の3つにおとそうと思いたのか気になります。

考えたこと → ○原爆はすこくいけないことだと思ったので、この先戦争がおきないようにしようと思いました。



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話はとても怖かったです。  
人間が炭のようになってしまうのは  
おどろきました。当時の広島の人か  
かわいそうだと思っ<sup>た</sup>し、生き残った人  
も、後で大変だ<sup>った</sup>と思<sup>い</sup>ます。  
原爆のおそろしさ、すごさを実感しま  
した。原爆はすごく強くて、おそろしい  
と思<sup>い</sup>ました。すごく勉強になりました。  
想像以上のこと、ものかたくさん  
ありました。熱風やしょうけきの速さや  
大きさ、ひがしい、亡くな<sup>った</sup>人、  
どれも想像以上で、これもとても  
勉強になりました。こうやって感想を  
書いて今、すごく勉強にな<sup>った</sup>という  
ことを改めて実感しました。また、全て  
が想像以上でこわ<sup>か</sup>ったです。  
また、今でも核保有国があると聞くと  
知<sup>ら</sup>せていたことでもさらにひどく感じました。  
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

広島<sup>の</sup>原爆<sup>について</sup>、学校で習、たときよりも、びっくりしたし、もと広島<sup>について</sup>よく分かりました。

そして、お話<sup>が</sup>とてもすごか、たです。本当に、生々しく話してて、すごいなと思いました。広島<sup>の人々のこと</sup>、そして、自分のこと、をととても頭で想像すると、ぞく、とする場面もありました<sup>が</sup>、アメリカのことや映ろうをもとに分かりやすく、私たちに伝えてくれて、これからも、大勢の人に語り<sup>について</sup>、原爆<sup>という</sup>ひさんで二度とや、てはいけないことを、これからも、語り<sup>について</sup>いてください。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは原爆暴のことを前よりもよく知りました。

じっさいにあったこと原爆暴の大きさをひかしの大きさがものすごくおかりました。

いっさいにあったこと、せんぞくのつらさをものすごくおかりました。

せんぞくはいつた人がおあったことかその人のかんづちをけたのでよかったです。

ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

リトルボーイのウラニウムが60kgもあって  
しかもその中の1kgが、ねんしょうしたたな  
んとて、びっくしました。

あとぎゃくに京都に原爆をおとせば、日本  
人をおこらせるのなせやらなかつたのしょう。  
それにアメリカが日本のあじ人を赤くそめ  
ようとしたということほほんとうでせう。





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は今日、戦争のことを受講して昔あんなにはげしかったということを知りました。もし今戦争をしたらもっとはげしくなると思っしたくさん命がなくなるということが分かりました。戦争は昔にあってから体験した人がどんどんいなくなっやうから今のうちにたくさんの人に勉強したい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

原爆で14万人もの人が一つの爆弾で  
亡くなったときにおどろきました。

40%の確率で死ぬというのが自分だった  
ら、と思うと怖くなります。

太陽より熱いというのもおどろきました。

現在原爆より強いものがたくさん  
あると聞いて今がそうら危ないし  
いうのを改めて思いました。

今日話してもらったことを忘れず、戦争に  
ついて考え続けていきたいです。

疑問に思ったこと

18さい?くらいの方がなみだを流さずたえて  
いた。と言っていたけど、なみだが蒸発して、  
もうないのではと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の、池田先生に教えてもら  
 った中でお父さんの原火暴体験が、  
 ものすごく、つらい言語だったと思いま  
 した。また音が、本当の音みたいで、すごか  
 いです。原爆は使っては、いけないとい  
 うことをあらためて思いました。  
 また原爆を、かけてなく、この日本人の心を  
 ゆらすことは、ダメだと思っています。  
 ひばく者が、生きている内に、子供など  
 に、教えて、ひばく者の、思いを、す  
 べて、かたのつづけを、もらいたい  
 です。本日は、ありがとう、さ  
 いました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

原爆先生の授業をうけて、私は、怖いけど、も、と話を聞きたくなった。本では分からない、きょうな話を私は、聞くことができました。『お父さんが体験した、原爆の被爆者の様子や、助けて、兵隊さん助けて』と、さけぶ、おさんな人々が、とても頭にうかんだ。でも、たぶん私の想像以上に、つらくてひさんな様子が戦争中にはたくさんあったと思う。あと、一つ、怖いけど、も、と知りたいと思、たのは、原子爆弾についてと、アメリカ軍の考えだ。話の中に、60kgのウランの中の1kgがねんしょうしたという話があった。1kgで、あんなに人々が亡くなり、広島が、灰色の平地になってしまったというのに、今では、60kgをねんしょうできると聞いた。60kgなんて、日本が、なくなってしまう、ぐらいの爆発がおきてしまう。原子爆弾の戦争が始まったら、世界が、本当に、なくな、てしまうと思う。だから、も、と原子爆弾について、知り、少しでも原子爆弾を防ぐことができる、と、思、った。アメリカは、いろいろな事を考えて、投下する都市を決めていた。例えば、一番破かい力が分かる都市や、重ような文化さいをこわさないように、考えて決めていた。文化さいを守るのは大切だ、と思、う。

でも、やはり人を一番きせいにしやすい都市を選んだのは、

怖いことだと思った。戦争をすると人は、死を軽くかんじ

てしまうことがあるとは聞くが、それは殺さないで殺される

という生活や、死を身近に感じさせられる生活だったからだ”と

思う。でも、これほど、怖い爆弾をつくってしまった事と

人の死をできるだけ増やそうと考える人間は本当に怖い

生き物なのだ”と思った。

あと一つ気になったのは、なぜチベット大佐は、軍機

に母親の名前をつけたのだろうかということだ。

そりゃ、原子爆弾を運ぶ軍機なので、たたえられるような

えいゆうみたいな軍機にアメリカではなると思う。でも、私には、

母親の名前をつけるのは、なんか、ていこうがあると思う。

だから、なぜチベット大佐が母親の名をつけたのが気にな

ったのだ”。

私は、今回原爆先生の授業を聞くことができ、とてももう

れしく思えた。今現在原爆や戦争の話をしてくれている

人はどんどん減っている。だから、私たちが話を聞きつづけ

なくてはいけないと思う。だから、今回の授業はとても重要

できちょうな時間だった。

お父さんと共に広島の原爆資料館におとすれた時の話の中の被爆者の人間には見えないようなひひかたれた女性の人形の写真を見た私はとても怖く、いたいたしくて私は目をそらしたくなかったがお父さんの「きれいすぎる」という言葉には、正直衝けきをくらった。

この写真以上のいたいたしい被爆者が大ぜい、ついこの前あったという事実が胸が痛くなり、私は戦争の怖さを改めて感じた。

今現在私のくらしは豊かで安定している。でも、今も北朝鮮との問題も日本にはあり、世界の中では戦争を今している国がある。一番大切な命が、今もたくさんきている。だから私たち人間は命を大切にすること、小さな争いから一っずつなくしていくことを心がけるべきだと思う。そして、もちろん戦争の怖さについて語りっがなくてはいけない。

今回はとても、たくさんのきちょうな話を聞けてとても良かったと心から思う。これからも、機会があれば話を聞き、たくさん戦争の本を読んで、戦争のない世界に近づきたい。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生のお話を聞いて、信じられない  
 ようで本当にあった戦争の悲さんさをあらためて  
 感じました。たった1つの原爆で多くの方が  
 命を落とし、そして、今でもこういうふうで苦し  
 んでいる方々がいる。この72年前の現実  
 に胸がとてもしめつけられました。やけどで  
 ひふがはがれてしまった人々、一しゅん  
 すみとなり、かたけになつた人「助けて」と  
 声をあかしている人、想像してみるとどんなに  
 痛くて、つらかったらうらこのお話を  
 聞いている間、聞いた後何度も思いました。  
 でも、本当は私が思っている何十倍、何百倍  
 も苦しかったらうらと思ひます。特別授業の  
 最後に原爆先生のお父さんの動画を見た時  
 と中でお父さんの流したなみだが戦争の  
 悲さんさを物語っているような気がして全て  
 本当にあった出来事なんだとあらためて実感  
 しました。わすか72年前にこの日本でおきて  
 いた事だとは思えないほど、今の平和な世の中



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆とはただの危険な火暴弾だと思っていました。たまたまゴルフボールぐらいのウランによってこのような悲しいことになるなんて、私はウランは危険でそのせいで多くの人々がなくなつたのかと思いました。今回の授業は、私たちが知らない本当の出来事を話してくれました。私は前にも原爆の授業を別の所で受けたことがあります。話してくれた方は本の紹介がどこに行けば「原子爆弾のことが分かる」ということが話してくれました。あの時の米軍は実験のために罪のない広島市民を苦しめていたのでとてもさくくただと思いました。私はこれからこの原爆のことを次の世代に語りついでいくことが大切だと思いました。たまたま原爆から人々は何を得て、何を失ったかを考え、私はこれから生活していきたいと思ひます。





名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、話を聞いて、思っていたよりも、戦争はひどく人々をものすごく、苦しめていたことに、くりしました。原子爆弾が、ものすごい被害だ。た事は知、っていたけど、自分が考えていたのよりひどく、ひどくはかかると、ものすごく苦ししい思いをしているところは、私のそうそうでは、じいじとはむすびつきませんでした。私のお父さんよりのおじいちゃん、おはあちゃんは、広島県にすんでいます。でも戦争の話は小さい時に聞いたたけで、あまりおぼえてはいません。だから、今回、池田先生(原爆先生)の話聞いて、ものすごいしょうげきをうけました。また、話の後半では、原子爆弾の説明をうけました。原子爆弾は、表面が太陽よりも熱くて、衝撃波は、音速よりも速い... ビデオで見た、爆発の瞬間は、すごくて、頭にものすごく残ります。しかも、あんなにすごい爆発なのに、ウランの重さは60kg中1kgの爆発であのウラニすべてが爆発したらと思えるすまいたけでもこわいです。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

「戦争」 遊心ではなく しんげんに聞くと 人の命の大切さや

戦争時代の大変な暮らしなどが 思いあたる。

だけと生きてる人がいた。

そのお父さんの家族の話を知ると 「生きていられたよかった」ではなく

「おすめたり」と思っている人(戦争時代から生きてる人が)

は多いのだから!

原爆で人がくるくみ 助けを求める

そんな時のことをおすめたいと思うのか!

今現在 自分が 生きていることが

かなりの幸せなことだと

あかためて実感する!

自分が何十年かたった時に

生まれて そして今 生きている

ほんの何十年かの差で 自分が

楽しく生きている

そのことがとても きせきめくと思うのは

みんなのだからか?



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

まず第一に思ったことは「ちょっと理解できないな」ということ  
です。

池田さんが語ってくださったことは、聞いていただけで、  
生々しく、吐き気をもよおすものでした。そんなことが、今から100年  
も前ではない時代に起こっていたなんて、本当に信じられません  
でした。

しかし、少したってから冷静に、事実として今日のお話を  
見つめていくと、あかたこともありました。

幼い頃、何かで原爆についての本を読みました。その本の中に、  
「体中に火傷を負った人々が川に飛び込み、亡くなりました」といったような  
記述を見て、どうして冷たい川に入ったのに亡くなっちゃったんだろうと  
思ったことがありました。しかし今日のお話を聞いて、やっとわかりました。  
川かたにたぎるほどの熱線をもつものだとは思っておらず、投下し  
た当人のエラケツの乗組員達が心を痛めたのもわかる気  
がしました。

戦争をしてはいけない理由の一つに、広島原爆の時のように、多くの  
人々が残酷な亡くなり方をしたり、何十年も病気を引きずることにな  
るんだということがあると思います。また、私はそのような目にあいたくありません  
ですから、私は戦争に反対します。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して、最初は7000℃の少年という題名をきいて、7000℃という熱さがよく分かりませんでした。でも話を聞いているときに、7000℃をうけると体がとけてしまうというのがとてもよく分かりませんでした。それに太陽の表面があつい爆破したものがスカイツリーぐらいの高さにまでおなべてひっくりしました。と中で3分ぐらいのリトルボーイが投下されるビデオを見ました。投下しているときはまたいにげるようにあったかと思いました。でも、地面につく前に600mでばくはつをして、そのあと、地面に、反射して、2回またかいを受けるというのがとてもこわかったです。あと、熱線、しょうげき波、放射線の3つについて、くわしく、話を聞いて、よく分かった分に、とても人間がやめたこととけ、思いました。3つのものが、1つのものに、まとまっているなんてありませんでした。でも、そのときに「ウラン」というゴルフボールぐらいの大きさで、重さが1kgのものを知りました。でも、たったゴルフボールぐらいの大きさで、広島、の町全体が一瞬にして、なくなってしまうなんて、かんがえられませんでした。ほんとうは、60kgたっただけと、1kgになって、ものすごくほてしめた。原爆先生の話の間や、実際にどのように、落ちたかがよく分かるように話したりして、くわしく伝えて、伝え方がうまいと思いました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日、改めて戦争はやってはいけないと思った。特に、原爆は二度と使っては  
いけないと思った。池田さんの話で、一瞬にして消え去ると言っていたけれど、  
それくらい熱いと思うとやはり、原爆はおそろしいと思った。

原爆で多くの方が亡くなった。どれほどの痛みかは、もちろん体験したこと  
がなから分らないけれど、池田さんの話を聞くと、皮膚がドロドロだ。  
たりすると、それだけ痛いのがか伝わってきた。

広島に落ちた爆たんよりも、1000倍の爆たんが、1万500機もあると言  
っていた。そんなものが落ちたら、どうなってしまうのだろうか。考えることもで  
きなかった。ゴルフボールサイズで広島をふきとばしてしまうのだが  
ら、それが60個も落ちたら、日本全部が広島のようにになってしまうと思  
った。今も原爆ドームとして残されている広島産業奨励館に私は  
行ったことがないけど、池田さんの話を聞いて行ってみたいと思った。

また、1万度ってどんなに熱いか考えてみると、太陽の表面よりも熱いと  
考えるとおそろしい。池田さんのお父さんは兵隊だったけど、池田さんのお  
父さんの気持かが伝わってきた。もう戦争はやってはいけないと思  
った。死体の処理をするのは大変だったと思うけど、なげださないうで  
一生けん命やっていたことに感動した。私も、今日聞いた出来事を話し  
たいと思った。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12/4

私が池田さんの話を聞いてすごくおどろいたことがあります。それはウラ  
ンタ-た1kgで広島市全体を焼け野原にしてしまうということです。ゴ  
ルフボール1個で、というもおどろきました。原爆のいかはすごいとあらた  
めて感じ、それと同時に怖いとも思いました。最後の池田さんが  
原爆資料館に行った時、もとひどかたと言っていました。私も原爆資  
料館に行ったことがあるんですけど、資料館の人形でも「あの人たちが  
そこらじゅうに行ったりいやだな」と思、たのにあれ以上ひどかたら  
と思うと池田さんはすごいと思、ました。私は池田さんが助  
けた女の人からの手紙を聞いてとてもゾクゾクとしました。それ  
はうれしさでもあるし、助けて良かったという気持ちです。

「死亡率40%」という言葉も聞いて私がその時代に生き  
ていたらどうしただろうと考えました。100人中40人もせくな  
てしまった。そしてその内の2万人はいっしょにせくな、た。私  
は正直今の時代に生まれてきて良かったと思、ました。池田さん  
は自分の体験を、次の世代に語、ていき私も今回聞、くことが  
できました。

池田さんが最後のビデオで言葉につまりながらも話をしていたのを  
見た時、戦争はやはりしてはいけないと思、ました。

今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生のお話を聞いて戦争はとてもの怖い物だなあと感じました。私は、実際に原爆ドームを見に行ったりもしているし、史料館にも行ったことがあります。史料館の中の物を見ただけでも、こわくて、苦しい思いをした人がたくさんいることが伝って来たのに原爆先生のお父さんが「きれいなすぎる」と言ったことにおどろきました。原爆先生のお話の中に、想像すると、「う」となる出来事もありました。でもその痛みに加え、何とか生きようとがんばる人を想像すると、その時代に行くと助けに行きたいと思いました。原爆先生のお話を聞いてみると、自分までつらくなりました。戦争中の人へ、本当にすんごいと思いました。私たちが、苦しい思いをしている人を見るのも、想像するのもたえられなさと思います。でも、話を聞いてみるとそんなことを考えてる余裕などもないということが伝って来ました。戦争はすごくおそろしいものだなあと感じます。そう考えると今の日本は、とても平和だと私は思いました。でも、今でもまた世界のどこかで苦しんでいる人がいるのを私は知っています。しかしその苦しんでいる人が世界でゼロになったらいいと思いました。そのためには、ユニセフで苦しんでいる人を助けたいと考えました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今日の原爆の話聞いて改めて戦争の悲しさを知りました。

「助すけて…助すけて…」とつぶやく人があちこちでなっていました。手に

さしのべて、でも皮膚がはがれその場にたおれ、苦痛でさげんで

いる人たちのことを想像するだけでもむねが泣いても痛くなります。

でもその手をさしのべて、助すけようとした人たちの方がもっとむねが

痛いのだと私は感じました。広島以外に候補になった都市

があったことも知りました。広島に投下された原爆「リトルボーイ」

時速300kmで3.12mもあるものが上から降ってきたらどんなに

恐いでしょうか。そのあとにも、太陽の表面より熱い熱線がきて

毎秒440mの衝撃波がきて、一瞬間のうちに人が消えてしまう。

考えただけで恐いことです。今でも原爆病という病で苦しんでいる人

がいます。過去にまだ若いのに亡くなってしまった人だっています。

私もと生きのびたか、たと思います。今、私たちが生き残っている

ことはすごいことなんだなと思いました。

今日の授業のことを聞いて、そのことをまた、友達、知り合いに、

伝えられたらなと思います。

これから今日のことを忘れるずに生活したいと思います。





名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は授業を受けて自分や周りかもしこうなってしまうたら  
とまじきに考えてしまいました。先生の話で、赤くなったり、  
やけどただれてはがれた皮うのことなどを聞くと、思  
おもその姿と痛みを想像してしまい、いてもたってもいられ  
なくなりました。もし自分池田さんの立場だったら、おそおし  
くなくて彼らに手をさしのべることさえできないかもしれま  
せん。そして、実際に投下された原子爆弾のしくみ  
などの正しい知識も身につけることができました。あ  
と不思議に思っていた原爆雲のことや、B29のこと、爆弾の  
重さなどを学んで、そこからどんな被害をもたらしたのかを連  
想すると、原爆のことがよりリアルに感じられました。人が  
一しゅんにして炭になりとばされるというのは、びっくりしま  
した。私が一番心に残っているのは、池田義三さんが原爆  
ドームをおとすれ、皮うがはがれた様子を再現したもの  
に文書しておしえた「きれいすぎる」という一言です。私は手の  
指のまめがっついて皮がはがれてしまった時のことを思い出しま  
した。ほんの数ミリの傷なのに、少しさわるだけで顔をしかめる  
くらいの痛みだったと思います。だから、この言葉に私はおどろろ  
ろとをもとに、今の私たちは感じたことのない、想像もできない苦痛

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

があったことを改めて覚えておくことが大切です。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

話はじめの時、題名の7000℃の少年ときいて、話おわったら意味が分かります。と言われ、はじめは意味がよく分からなかったけど、話をきいていくうちに題名の意味が分かった。

なにげない生活をしている中で、いきなり人生が変わってしまう原爆。今日、原爆の音などを聞いた。本物の原爆は、もともとこわく、大きく、すごいのだろう。

7000℃とは、かんがえられないほどの温度だ。それが1しゅんにして人々をおそってしまう。とってもかなしいことだ。人のひら、がはがれてしまったり、大きなやけどをしてしまった人々をばこぶこと。それをきいてとってもつらいことなんだと思った。

今の現じではかんがえられない、つらい、おもい原爆。とっても、広島の人とはとてもかなしかったと思う。池田さんの最後のお話<sup>トキオ</sup>がとっても心に残った。言葉もつまらせながら、涙をながしている姿を見たら、伝えたい事が、伝ってきたような気がする。今日のお話は本当に貴重な体験だった。はじめて知ったことがとてもおおかった。これからの未来に原爆や争いがおこらないようにしたいです。

約90分間、お話をしてくれてありがとうございました。とても心に残りました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくがこの原爆先生の授業を通して感じたことは  
たくさんありますが、書けるだけ書きます。

まず、原爆のこわさについてです。ゴルフボール1個分  
で太陽以上の熱さにかえて衝撃波、放射線を  
出すなんて何とこわいことだろうと感じました。今の技術で  
その千倍以上の力を出したら、何千発も打ち合う戦争が  
起きたら、地球はどうなってしまうのだろう、とゾクッとしまし  
た。

次に、京都がねらわれなかつた理由についてです。打ちおと  
すには絶好だ。たけど人類の未来などを考えて、やめたのは  
すごいと思いました。今思うと、京都に山ほどある遺産が  
焼けてしまうなんて、大変なことです。

くわしい情報が知れたのもよかつたけど、やはり、くわしい  
体験談(感じたこと)を知れたのは大きいなと感じます。爆風と  
熱線にさらされた人たちの話を聞くのはつらかつたけど、これらを  
伝えていかないと、また同じような非さんな事が起ってしまうかも  
しれないので、永くこの人類初で最後の出来事を伝えないと  
いけないんだ、と考えました。

これからもこの話を続けてください。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ほくは、この授業が"とても印象に残りました。その後の給食を食べるがいやになったほど"です。

よく街頭で核はいいとか、ノモア広島とか言っている人を見かけます。僕は原爆に対してある程度知識としては知っていましたが、"はくぜんとしたイメージ"でした。ですので、そんなことを言われても、よく分かりませんでした。原爆をもたなければやられてしまうなどの意見もあります。僕はどの意見が正しいのか判断できませんでした。

しかし、今回の授業で、想像をはるかに上回る、さくさくに心をうたれ、自分で自分を傷つけている人間の欠点も知れたような気がしました。そんなことがある中で、せいいはい生き、この日本をつくらせてくれた人たちに、感謝したいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

特別授業を受講して初めて、戦争のつらさ、苦しさ、そして絶体にはいけないことだと思いました。特にそう思ったのは、助けを求めた人たちが前方に手をだして、「助けて」と言っている所を聞いたときでした。私はそのときに、「どんなに苦しくて、つらくて痛いだろう。戦争は、絶体にはいけないことなんだ」と思いました。また、「7000歳の少年」という題名だけで、最初見たとき、まったく意味が分からなかったのですが話を聞いていくうちに、「7000歳は、原爆の熱さなんだ」と思ったり、「原爆は少年というんだな」と思ったりして、やっと意味が分かりました。池田義三さんのビデオを見たとき、義三さんは、どんなに、つらい思いをして、どんなに苦しくどんなに悲しかったのか、ビデオを見ているだけで、伝わって来ました。この受講をして、『原爆』について詳しく知ることができました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

ぼくは、特別授業を受講して原爆のお話のすごさがよくわかりました。原爆先生がいったように7000°の少年という意味がよくわかりました。エノラゲイが約3000kmもはなれたところから飛んできて原爆をおとすためにすごく力をつけてきたと思います。京都が一番の候補地だったけれどそのあとの日本のことを考えてくれた人のおかげでうまくできました。エノラゲイも原爆にまきこまれないようにおとしたあつちにはげないといけないうまくて戦争はものすごく命がけの投下目標の場所からほんの少ししかずかなくて70年も前なのにすごいなと思いました。ゴルフボールのような大きさのウランでもあんなに強くて60kg全部が爆発していたらもう想像もつかないです。本当にこの授業を受講してもっともっと戦争で原爆の強さなどいろんなことがわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原子爆弾投下の候補になった都市で、新潟や京都もあって、もし新潟に投下されていたら、今のように米がたくさんつくれていたかわからないし、京都に投下されていたら、たくさんの文化財がなくなってしまうと考え、おどろいた。また、スカイツリーの高さ以上の場所で、太陽以上の温度になり地上にも、3000℃という温度がおそったとすると、とてもたえきれないと思えた。原爆の衝撃波は、秒速490mと、音速より、1秒あたり100mを差がてっていてこわかった。また、リトルボーイのウランの約 $\frac{1}{60}$ だけで、壊滅的な被害がでると知って、もし、 $\frac{60}{60}$ の力だと、広島県や島根県などの中部、中国地方にも被害が出て、さらに、四国まで到達したかわからない。また、広島市の人口の約3分の2が被爆、約7分の3が死亡したと考え、とてもおどろしかった。また、義三さんの体験の中で、助けようとしても被害がはかばかしく、転び落ちて（まらという）この痛々しさは伝わってきた。

それに、一体何が"おきたのかわからず、ただ、消火や、死体の処理をしたのが、とてもこわいと思えた。世界の各国が、リトルボーイ何倍もの爆弾を（している）と聞いて、か戦争を絶対に起こしてはならないと思えた。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆の話を書きいて思ったことが2つあります。1つは兵隊さんが死体を運んだりしていたことです。兵隊さんはぼくのイメージでは戦っているだけとと思っていましたが、死体を背でおぶり運んでいたのを書きいて本当に大変だったと思いました。2つ目は死んだ人の数です。きいたときはぞっとしました。広島に原爆が上空600mにもかかわらず太陽より1000℃も高い熱そして半径500m以内で3000℃。その熱さに人の水分が蒸発し消えてしまうことにきょうがくしました。最後のメッセージでは泣きながらかたっていたことにすごく感動しました。今だんだん被爆者が減っているのでも貴重な経験でした。





原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは、この特別授業を受講して、分かったのは、原爆は使、てはいけない物だと思っていたけれどその思いがもっと強くなりました。なぜかというと一発で、14万人が亡くなり、そして24万人も被爆していることを言っていたので、そう思いました。この被爆しているというこゝと似ているので、すが、後/にいろいろなことで大変になるというこゝとも思いました。それに、これに替わってくるんだが人たすもいるというこゝも、考えないといけないと思います。ぼくに思、たこととはウラニウムが燃えたのが1kgだ、たと言、ていたがもし全部燃えていたら広島だけではなく、その周りにまきまきしてしま、うので、ぼくは、いかに、いうこゝでも、戦争が、あ、る原爆が、あ、るような気がします。だから、戦争をや、ては、いけない、と、思、います。最初に書、きました、が、原爆は使、ては、いけない、と、思、いました。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、この原爆先生の話を聞き、あらためて原爆のおそろしさ、怖さ、悲惨さを知った。ぼくは原爆というものを体験したことがないので、この原爆先生の話しを聞くとそのときどんな様子で、兵隊の人達は道路で倒れていて死んでいる人が、今にも死にそうな人を見たりして恐怖に包まれていることが想像できた。アメリカのB-29爆撃機が広島に落ちた「リトルボーイ」という原爆。その原爆のウランが60kgのうちたまたまの1kg燃えただけで、広島市が焼け野原になってしまふのに、もしも60kg全部が燃えたらどうなるかが想像がつかない。原爆は人を苦しめるものであり、何も良いものではないと思う。最後に聞いた、池田義三さんのビデオでは、義三さんが当時どんなに苦痛で、悲しかったかがしわじわと伝わってきた。ぼくは、この話を聞き、戦争というものは、人を不幸にし、苦しめ、ただ無駄に人を殺し続けるとても最悪なものだと強く思った。そして、この太平洋戦争のために戦い、亡くなってしまった人や、そとさな頃で被爆して亡くなった人が今の平和な日本から見えずともかわいそうだと思う。そのためにも一日、日を大切に生きていきたい。今日の原爆先生の話は、とても人の奥深くまで印象に残り、自分にとってとても貴重な体験になった。そしてとても感動した。この原爆の

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

恐ろしさは、次の世代にも伝え続けていくべきだとぼくは思った。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

僕は争いで一線をこえてはならないとあらためて感じた。今いきている人には想そうがつかないくらいのものだったのたと思う。でも今いきている人はこうして、ひばく者の息子さんなどからきけている。これはとてもしあわせなこととともに、積任があると考えている。当時はまだ、技術がたりておらず、ウランが1kgだけ燃しょうでよかった。でも今はちがう。ますますな国が発達していても、とまたいものがある。自分たちがこんな世の中をどういきるのが、原爆先生の話をきいてわかった。あの時の原爆だけを多くの犠牲者をたしていた。広島ががれきてうめつくされた状態のになった。そうたよ。争いはいきていくのに必要だけど、一線をこえちゃいけないたよ。僕はこんなのかんたんだ、と、思っていた。でも実際はどうなんだろう。なぜ、アメリカは一線をこえたのたろう。そもそもなぜ、そんなおそろしいものをつくたのたろう。きも人はたくさんある。これからそれはときながらいきていきたい。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回原爆先生の特別授業を受けて、大切なことがたくさん学べました。そして、新しいことをたくさん知ることができました。その中でもすごく印象に残った所があります。それは、原子爆弾が落ちて被害にあつた人のことです。義三さんが元安川での死体の処理が終わった後小さな男の子が助けを求めていて、男の子が行った場所には原爆でけがをしたお姉さんがいました。そのお姉さんはふくらはぎをけがして包帯がまいてありました。義三さんはそのけがを見るために包帯をほどこうとしましたがなかなかほどけません。お姉さんはすごく痛くてさげんだけど涙はながさなかったそうです。そこがすごいなと思いました。私だったら絶対痛くて泣き止んでいたと思います。お姉さんはすごく強かったなと思います。そのおかげでお姉さんはたすかりました。命ってすごいんだなとあらためて思いました。原爆先生の授業で命の大切さや、生きることのすばらしさたくさん大切なことが分かりました。もう、このような戦争が二度とおきないように願っています。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆のおそろしさについて、しることもできました。ぼくがおどろいたのは、うらんのことです。直径は、ゴルフボールの大きさと、重さは1トナ。そのうらん1個で広島市がやけたのなち、60個全部あちていた。とても大きなはんいかやけてしまいます。

あと、池田さんが体験したことについて、書きます。川に、人の遺体がいらはいうかんていたといつて、とてもびっくりしました。母がいつていたんですけど、その川は血で、真赤の川といつていました。

原爆のあつさは中が100万C、外が7000Cといつう、とてもあついことが分りました。

ビデオを見て、びっくりしたことは、いはいあ味す。原爆のあつさで、階段は座わつていた人が、いおしんできえ、かけだけかいつていて、とてもびっくりしました。

ぼくは池田さんがよく戦争をとあして、生きのびたな〜と思つています。ぼくも原爆ドムにいつたことがあるので、原子爆弾をうけた人たちの気もちがよくわりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて、信じられないことをたくさん知りました。とくにいんしょうに残ったことは、広島に原子爆弾が投下されたときのことです。人がすわっていたはずのところがかけただけになり、人の体がドロドロになり、たたりしたところがいんしょうにのこりました。たった一回の爆発で14万人の命をうばったのがとても信じられません。へいたいの人に「助けて、助けて」と原爆にあつた人たちがボロボロの体でしゃべりかけてくるのを、にがずに協力していることに感心しました。今、平和でくらしせているのは戦争をけいけんした人が戦争の苦しみを知り、それをいせたいの人に伝えていっているから日本は戦争をしないんだと思います。この話をもっといろいろな人に伝えていけばこれから戦争のない世の中ができると思います。これからこの話をうつつけてほしいです。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

欄

/

ぼくは原爆先生の授業を受けて、最初は 槽爆者の方  
 かなーって思っ。それか槽爆者の方の息子だと思っておりました。  
 27 まで本学へ併りしたのがおなじみで、知りと思い、もう1回先生の授業  
 を受けて、一番印象深かったのは、11kgの原爆の中にあるウラン60kg  
 のうち1kgで、川金井市の人口の約2倍以上の人が槽爆  
 された。これにいちばんダメージを受けました。そして今の技術で1kg  
 の1000倍の力を出せるから、あの悲惨な出来事が起きるとしたらとんでも  
 ないことになると思う。晩年に大切な人や家族をとして自分までが死な  
 せられたら、それはとんでもないことだと思ひました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

被爆それはとても大変なことだったと思う。精心的にも、身体的にも。

僕は原爆の風圧も、音量も分からなかった。けれど今回この特別授業を受講して、とてもすまじいということが分かった。原爆先生の父親、義三さんはとても立派な人だと思った。まず17歳で親元をはなれて死ぬかもしれない陸軍に僕なんかじゃ絶対に入れない。そしてその後広島原爆の救済活動にあたり人間とは言えない姿のヒトを救助してきて11人の遺体に合しようとし、献はこめていいから分からないけれど、

とても大変だったと思う。僕じゃできない。授業を聞いていて「皮膚が落ちる」とか「虫がわく」ということを想像するだけで怖かった。しかしそれを「怖がたもうヤツ」で終わらせるのではなく、このことを経験したことを僕らが次の世代へ伝えていくべきなのではないか。「怖がたもうヤツ」ならどうするのか。「ならやらないようにする」これがこの70年という節目に生きている僕らの使命なのではないか。





名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆先生の授業を受けてほくは、元ヒヤ本などに書いていないことをたくさんおしえてもらい、ほくが知っていたこととは、ほんと、ちがいました。ほくは原爆先生の原爆のことを書いてはじめて知ったことや、びっくりしたことかある個あったので、そのことについて、1個目は広島に投下された原爆のことです。この原爆は、3.12にて、4世なのに、たくさん人の命かなくなるとなっていて、原爆を落したのかと思いました。2個目は原爆を4kmの手前で落とすととくのは、まじと思いましたが、3個目は原爆を落とすのに条件があると思っていたので、はじめてしました。最に見せてもらったビデオで、体験した人は言葉がつかまなくて本当に悲しかったのだと思います。ほくは知らないことをたくさんおしえてもらい、貴重な体験をさせてもらいました。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受講して以前より原子爆弾について  
くわしく理解できる状態になりました。それと同時に戦争と原子爆  
弾のおそろしさや、こわさを感じました。原爆先生のお話  
を聞いて特におそろしさやこわさを感じたのは、  
原子爆弾の表面温度・原子爆弾が爆発する高さ  
についてのお話を聞いたときです。原子爆弾の表面  
温度は太陽の表面温度より1000℃も高い7000℃  
と知りました。表面温度が太陽より熱い温度は全く私には  
(7000℃)  
は想像ができません。また原子爆弾が爆発する  
高さは上空600mと知りました。この高さは東京スカイツ  
リーの高さと同じくらいの高さです。表面温度が太陽  
よりも1000℃高い7000℃の原子爆弾が東京スカイツリーの  
高さと同じくらいの600mの高さまで爆発したときのことを  
考えると胸が苦しくなりました。そして戦争のない現在の  
日本はとても幸福に包まれていると気がきました。今現在生きている  
私達は恵まれたかあると思いますが、戦争のない現在の日本がある  
ことが一番幸せなことだと思います。今回はとても貴重なお話を  
聞くことができて、うれしかったです。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

12 / 4

原爆は絶対にいけないと思う。アメリカでは原爆を戦争を終わらせた正義の爆たん<sup>と</sup>と教えていることもあるという。しかし、一発で14万人もの尊い命をうばった爆たんは正義でもなんでもないと思う。池田義三さんの班は、爆心近くにいて生き残った数少ない人たちだから、原爆先生として、自分たちに原爆について教えてくれるのはありがたい。

昭和館にもいって戦争のことを勉強したつもりだったが、実際に体験した人の話はやはり違う。まるで死体かとなりにあるかのように感じた。

今の時代は平和でよかった。

一番印象に残ったことは、一瞬間で後かたもなく消えた2万人の人のことだ。約3000℃の高温で体の水分がとび炭になり、しょうげきはで粉になってしまった。こんな普通ではありえない。ありえてはいけないと思う。二度と同じことをおこさないために話してくれている。あと10年したら原爆を直接うけた人なんていなくなる。被爆者の話を聞ける最後の代だ。だから責任をもって原爆のおそろしさを伝えていきたい。

◇ 調べてみたこと◇

○ リトルボーイ(広島)はTNT爆たん15kt(55×10<sup>3</sup>ジュール)の威力である。

○ 全焼・全壊した家屋は約6万戸におよぶ。

○ 使われたのはウラン235という種類。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

12/4

今日の原爆先生の特別授業を受けて、戦争の  
残酷が伝わってきました。

広島は40%の人が死者が出て、24万人の  
被爆者が出て、とても悲しく、こわい事なのに、フ  
テブは、1kgしかおんがうしていないと聞いた  
ので、今の科学技術を使えば、もっとたくさんの  
死者が出てしまうので、絶対に戦争をせずに  
はいけないと思いました。

義三さんは、とてもつらい情景を見たのたかな  
あと思いました。町にいる、やけどをして、皮がはがれて  
いるしょうたいの人を、助けたのに、助けてもらえないの  
は、とてもつらい事だと思いました。また、その悲し  
さに、なまてしまう人の心も、とてもこわいと思  
いました。

これだけ、悲しくてこわい戦争を、二度と  
しないためにも、戦争の残酷さや、悲しさを  
学び、伝えていかないとはいけません。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原爆先生の特別授業を受けてなんともいえはいい気持ちにはりました。私の祖父も戦争を経験していて、よく話を聞きましたが、原爆を実際に経験した人の話を聞くのはこれが初めてでした。私も原爆というのをごいろう知っていましたが、爆撃機の名前や中心のあつさほど<sup>いせんてい。しかし。</sup>とイも身近な物ほどにたとえて教えてくださったのでとてもよくわかりました。さらに、7600℃の少年のエピソードが強く、こやくともいんじょうに残りました。池田義三さんはきせき中のきせきで生き残ったのだと思ひ、原爆を経験してきた池田さんの話をきけてよかったと思ひました。私たちが今こうとう戦争を終えたところを習ひましたが、原爆は、広島と長崎に落とされたということしがでてこなかったのや、体全体やけどした人にかこまれたという話や手もってひきあげようとしたら手の肉の一部がとれしじやうがたれ、苦しむ人たちがいう話に、自分だったらとわがくして聞きました。それ、今、生きてゐることはとてもすごいことできせきなのだと思ひました。もう私が大人には、たときには、池田さんの子うに受けついで話をしてくれる方も減ってしまうと思うのや、私はその子うな話を大切

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

に聞いて原爆戦争のこわさを伝えたいと思ひました。



名前は裏面に記入してください

## 原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の授業を受けて印象に残ったことが3つある。1つ目は、死亡率が40%の所である。とても高い数値で、5人中に2人が原子爆弾で亡くなっている。小倉市だと、10万人だからもうほとんどの人々が亡くなることになってしまうからだ。2つ目は、「1kg」という言葉だ。この「1kg」というのは、広島に落とされたウランの重さである。爆弾には、ウランがなんと60kgも入っているがその中のたった1kgで町が消えてしまったのだ。その1kgというのは、ゴルフボールくらいの大きさと同じものを1つ落としただけで、広島が変わってしまい、恐しいと思えたからだ。最後の3つ目は、池田義三さんが原爆に会った人形を見て「キレイだな...」とつぶやいた事だ。私は、原子爆弾が投下されたときにはまだ生まれていない時代のことだから、「キレイだな...」とつぶやいた義三さんの気持ちや思いがわかってくる。実際に体験したからこそ、心が肉からはがれ落ちた痛々しい姿は、もっとひどいものだ。たのたろううと思う。だから、義三さんは実際よりもあまりやさしいものでは



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生の話を聞いて、思ったことは、2つあります。

1つ目は、原爆がどうかされたときには、何がおきたのかが、もう分からないうことです。原爆がおちてきていることに、気付いてにげようとするまもなく、一瞬にして、自分自身がこの世から消えてしまい、一瞬のことで、何がなんなのか、分からないのです。自震ならまだ、にげられるけど、一瞬であるのならば、にげることすらできなりのです。

2つ目は、実際に体験した人の話は、もう聞くことができなくなってしまうということです。私の、おじいちゃんも東京空襲を体験したということですが、私が産まれる前に亡くなってしまいました。たゞ、そのときの作文が、まだあります。それをこの後の、子孫たちに伝えていかないと、とんとん、きちょうな資料などが少なくなってしまう。だから、これから私たちは、この後の世代にうけつがないうけな



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の原爆先生の話を聞いて、原爆は、自分が思  
っていたよりも生々しくて、驚愕した。もうこんな話は  
聞けないと思うから、今回聞けて良かった。ぼくが一番  
驚いたのは、熱風、衝撃波、放射線で、一瞬にして  
消えてしまうということ。そんなすくすく炭のようになって  
しまうのは、今では考えられない。そんな中でも、  
残酷な人々を助けようとする勇気があって、ど  
んなに助かるはずがなくても、少しの可能性を信じ  
て、頑張って助ける必死さが伝わってきた。ぼくは  
いつか原爆ドームに行き、原爆の時は何れだけ  
辛かったかというのを生で感じてみたいと思った。





名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を通して  
思ったことはいくつあります。

1つ目は原爆で火傷になった人のこと

2つ目は原爆のこわさ

1つ目ので思ったことは人が火傷になって、  
皮膚がはがれ、肉が見え、汁がポタポタ  
たれているのが最初は気持ち悪いと思っ  
たけれど、そんな気持ち悪いと思っ  
たら亡くなった  
方に失礼いから、たとえ気持ち悪くてもな  
かないとぼくは思う。

2つ目で思ったことは原爆は空軍機が  
9632mの高さで4kmをはなれた場で投下して  
も目標地点に時速300kmで落ちるからにげ  
れないし、しょうげき波で人が1しゅん  
で炭になってしまう。他に原爆で生きていても原爆  
しょうという病気で苦しんでいる人がいたこと。

原爆した地は、30℃～4000℃の熱線しょうげき波  
で1しゅんにしてなくなる。

だからこの2つ思ったことが自分ではこわい物に



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

戦争中と今を比べるとすごく平和だ  
と思います。爆弾やかく兵器などを使うと  
たくさんの方が出てくるので無いほうがい  
いと思いました。今でも戦争をしている地域  
があるから早く終わってほしいです。小さな事  
から戦争になっていくからやっぱり争いは  
良くないと思いました。建物が壊れた  
りする被害を引き起こすこともあるので  
北朝鮮とかの国の事件を早く解決して  
ほしいです。第二次世界大戦については  
あまり歴史でも分からないう事があったので  
そういう事が知れたいい機会だと思  
いました。戦争は平和の大切さを教えてく  
れたと思います。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の話を聞いて原子爆弾のことについて、いろいろな知らなかったことが分ったと思います。たとえば、B29の飛行機の名前や、原爆の温度です。

今日、原爆先生が最初に言っていた、タイトルのいみも分かりました。原爆の温度は、7000で、小年というのは、その、原爆(広島に投下された)の名前です。その名前を日本語に直すと、少年、または小さな子という名前になります。だから、タイトルが7000°の小年だったんだと思いました。

そして、また、原爆(刻)のことで、原爆先生が言うには、この時、まだ、原爆を作った国、(アメリカ)のきじゅつがあまりはたつしていなかったから、これだけのほんいたったと言っていたので、今の技じゅつだと、広島だけでなく、とても広いほんいなのに、もっと大きなほんいて、ひかいか出るということなので、この日本の経験と見て、世界のどの国でも競争は行なわないでほしいと



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

12/4

今日、この特別授業を受講して、原爆の無残さを、改めて感じる事ができた。

そして、今回教えてくれた先生が著者の「ヒロシマの九日間」も、原爆とその当時の様子を矢口る事がかりだと思ひ、興味かててきたので、後日、図書館で探してみようと思ひ。

また、今回矢口ることができた、候補になる条件の「直径五キロメートルの都市」「平野である」「空襲がなかつた」や、候補になった都市(被爆した都市を除く)、小倉や京都、横浜、新潟だったのは意外だった。

さらに、当時の広島市の人口35万人のうち、40%の14万人が死亡するという、死亡率の高さに声かてなくなりそうだった。

今回の特別授業は、いい経験になったと思ひ。



じゅこ  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

/

私が一番衝けきをうけたのは「リトルボーイ」です。まず、  
 4丁もあることにおどろきました。そんなに重いものが空から落  
 ちてきて、爆発し、熱線や放射線などの強い光が一気に(急  
 に)さしてきたら、とても、熱いと思うし、目もあけられず、体を  
 やけどして、すく、痛らたし、生きているのも、こんなた"と思った。  
 さらに、「リトルボーイ」は、時速300km以上で、落下し、にけるま  
 もなく、はくはつし、おろてくる。とんぱにはなれていても、爆心(せ  
 から、勢いよく、けむりのようなくもがとんぱとんぱが"つ、一しゅんて  
 建物をこわしたり、人を炭のかたまりなどにしてしまう。「リトルボーイ」  
 にはウランが入っている。ウランの重さは、6kgのそのうち、1kgが"  
 ねんしょうした。たったの1/60。1kgしかねんしょうしてはなくても、広  
 島を一気にやけどのぼろにしてしまった。私はとてもびっくりした。  
 ひばく者は24万人もいて、みんな苦しい思いをしたと思う。もし、  
 私が、空しゅうのひばいにあつて、スヤけどいなどをしたら、動け  
 ないし、いつも一緒にいた家族や友達とはなれてしまう。ずと一人で  
 さみしいかなしい思いをする。戦争は人々に悪いえいほうをあてえる。人々  
 の暮らしが苦しくなったり、たくさんの人か"死んで(しまった)、悪いことか"  
 ある。人々の笑顔も消え、不安もな気持るまし、決して平和では  
 ない。だから、これからは戦争、戦うのではなく、一人か"笑顔で平和に

いばい  
か

せるような社会をつくらしていきたいと思う。もと戦争について知りた"いと思つた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

ぼくは今日の池田さんの話を聞いて  
感じたことがあります。一つは「7kg」です。広島に落  
された原子爆弾の中のウラン60kgのうち7kgが  
燃焼したただけであのようになてしまい60kg全てが  
燃焼していたら…と考えるだけでもたどします。

アメリカは戦争のためだけに市民を巻きこえ  
にしたこうけきを行、たと聞いて市民は何も悪いこ  
とをしていないのに」と思いました。

実際に原子爆弾が落されたのは、広島(ウラン)  
長崎(プルトニウム)でしたが候補には、小倉、横浜、  
京都がでていたことを初めて知りました。

帰ってから母に聞いたことなのですか、ウラン  
よりプルトニウムの方が強かたそうです。

しかし長崎より広島の方がひかいかた  
たります。最後に聞いた義三さんの話して戦争か  
とれただけ残こくでおてはいけないのかか  
分かりました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

名前は裏面に記入してください

私は、今回、原爆先生の話をきいて、広島や、川崎の原爆は、私達が話をきいて、想像することよりも、はるかに悲惨な状況だ、たのだと思、た。原爆先生の話をきいて、き、を、感想として、「苦しませ、痛みが伝わってきた。」みたいなことを書いても、それはきくと違うと思う。私が話をきいたかぎりでは、「痛い、苦しい。」そういうことは、想像して、痛いほどわかった。けれど、それを紙に書いても、身として書いたとしてもそれは、実際に体験していないから、あんなにきつくない。ビデオでもあ、たけと、原爆の話をしているとき、当時のことを思い出しながら話をすると、涙が自然に出てくる。本当に、助けたくて、蹴られ、痛みをが、さくさくした人たちが目の前にいるのに、なにもしてあげられない。かえって傷つける悲しさ。そして、実際に体験した人から見れば、私たちが、見て目をつむいたくなるような資料の人は、「きい、きい、きい」。本当に人間にはみえなような姿にな、た、を多ぜい目の本たりにしたのでらう。なにやり、毎日、毎日死体をかいて、積み重ねて、焼いて、そのくり返し。そんな、悲しい、光景を見て目に焼きついたら、もう生涯忘れることはなか、ただらう。き、と、その場には、感情というものをとびこして、いたためではないだろうか。そんな、言葉では、言、い、表、れ、せ、ない、ほどの出来事が、今後、二度とないよう、に、行動し、考えを深めていきたい。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、この授業を通して、戦争の怖さをより深く知る事が  
 できました。話をしているだけでも、その場面が頭の中につかび  
 ました。一番すばらしいと思った事は、兵隊さん達です。一  
 こくもはやくにけたしたからなのに、一しょうけん命手当てで、遺  
 体をかたずける事が、私にはできないと思いました。池田義三さん  
 達が助けた女性の人から、その後手紙がとどいたと聞きました。  
 きつと、池田義三さんはその事を思い出して、苦しくなったのたろうけど、  
 自分達が助けて良かったな、と思、たと思います。そして、女性も、助け  
 てもらった事が本当にうれしくて、ありがたくて、手紙を送ったのだと思  
 います。池田義三さんは、原爆ドームが建て直されてから、行状事を聞  
 きました。「きれすぎる。たった一言しか言えなかったけれど、どれだけ戦争  
 はめちゃくちゃだったのか分かりました。義三さんが話している動画で、と中で  
 義三さんが泣いて、「表現、文章では伝えられないほど」と言っていました。私は、  
 この人の気持ちがよく分かりました。だから、私も少し苦になりました。  
 今回の原爆ドームに生々しい人形がかかってあって、それを見て気持ち悪く  
 なる人いると聞きました。そして、今日、池田卓徳さんのお父さんの話を池田  
 卓徳さんが、私達に話してくれました。そして、夏休みになると、テレビで戦争  
 についての事が流れます。こういう事をやるからこそ、ま、戦争を絶対にして  
 はいけないとみんなが思えなくなると思います。私も、今日、より強く、戦争を





# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今回、原爆先生(池田真徳先生)が私たちに、お話し下さったものは、

私の想像をはるかに超えているものでした。それは、怖いや恐しい  
などではなく、それを、通り越して、私は、無言になってしまいました。

私が先生のお話のなかで、とくに、「怖い」と感じたのは、先生が、再現  
して下さった、原爆が落とされる時の音と、人が一瞬で消えてしま  
うという言葉でした。まず、原爆が落とされる時の音では、初めに「ヒュ〜」と  
長く、たくさん音か小さな音で聞こえ、その後少しの沈黙がありました。  
その沈黙のとき、私は、「もう終わった?」と思いながら、そして、少しずつ、  
姿勢をむき合っていると、いきなり先生が、「ド——ン!!」と雷みたいに言いました。

私は一瞬、なにか起ったのかか、分かりませんでした。それくらい、ビククリして、  
恐しく感じたのです。そして、それは、原爆が落とされたときの音(おそらく、爆発したときの音)  
でした。だから私は、原爆が、落とされ生き残った人々は、私と同じような、いや、さっ  
と、想像のできないほどの恐怖を感じた人、もしくは何か起ったのか、全然分か  
らないと言う人もいたのではないしょうか。次に人が一瞬で消えてしまうのは、  
また少ししんじられませんが、でも、本当は、一瞬で消えてしまうのではなく、  
そう見えるだけな、そうです。熱線をあか、体中の水分が蒸発して  
すみになり、それが、衝撃波が来て、すみか、さなかなになてし  
まりました。それが、速かったので、人が消えたように見えたのですね。  
そうなる人々は、自分になにか起ったのか、考える暇もなく、せなてしまったので

はないでしょうか。しかし、今の世界では、広島<sup>の</sup>原爆<sup>で</sup>、使われた、  
ウランの、何倍ものウランを入れた、ばくたん(原爆?)があるそうで  
す。それは、私も、ここ被爆者たちも、みんな、そのばくたんを、使、てほしく  
ないはずで、す。この世から、争い<sup>が</sup>なくなる日は、いくくるので、しょう  
か。早く、来、てほしいで、す。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日の授業を受講して、原爆の痛みという  
のがよく分かった。最初の話を聞いていると、池田<sup>ユキ</sup>  
などが生きていられたのは、いろいろな偶然が  
重なってからなんだということを知った。

原爆が落とされてからのすごい音で、みんな  
びっくりしていたが、実際原爆は、そのような  
音をおこすことに驚いた。池田<sup>ユキ</sup>が原爆が落と  
されてからの悲惨な味あつたことの話聞いた  
とき、普通に聞いてはもらえなかった。

原爆資料センターの画像なども見て、  
原爆の恐ろしさが分かったが、池田<sup>ユキ</sup>が「  
イザと云った時、原爆とはどのようなものを  
想像することができなかつた。他にも表面  
温度が3000℃などいろいろなことが分か  
った。このことから、これから二度とこの  
ようなことを起こしてはいけない、  
ということ強く思い、生きていきたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆とは本当に何なのか、原爆の  
かはどれくらいなのか、よく知ることが  
できた。原爆の語はあまり聞いた  
ことがなく、そこまで深くは  
分からなかった。だが、今日の授業  
を通して、核兵器のおそろしさ、  
被爆者の辛さ、平和の大切さを  
よく考えられる機会になった。  
白い光が光った時、すぐ平らになっ  
てしまったというものと、いっしょにして、人がい  
なくなる映像はトラウマになるくらい。  
こわく、それにくわに永久に平和になっ  
てほしいと願う思いが、いっそう強まった。  
また、「リトルボーイ」がいっしょにして  
都市をなくしてしまうのは、まさに  
地獄そのもののようと思った。今は  
これ以上の核兵器があるというのが、  
とてもこわく感じた。だから、平和であっ  
てほしいと僕は思った。



じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

太陽以上の熱さを誇る球体が地上600mの位置に有ったということは、誠に驚くべきことだと思う。しかし、自分が最も驚いたのは、たった1kgのウランで、大規模な爆発を引き起こすことができるということだ。たぶん、エネルギーの量が異常に多かったんだろう。話によれば  $^{235}\text{U}$  というウランの同位体1つから、200MeVのエネルギーが発生するらしい。しかし、ウラン分子は、めちゃ小さい(0.000000...mm)ので、1kgもあれば、莫大なエネルギーになるんだろう。

更にウランといえば、有害な放射性でよく知られている。プルトニウムも同じだ。この放射性物質から出る放射線で未だに、原爆の後遺症に苦しむ人がいる。

酷い話だが、戦争で負けていた国だから、落されてもおかしくないだろう。しかし、酷いというより、恐ろしいという感情の方が先にこみ上げてくる。なんといっても、瞬く間に凄まじい熱線と強風が吹き、更に、目が潰れる程の閃光と放射線が迸るのだから、怖いところではない。そして、もし全ての搭載されているウランが爆発したらどうなっていたことが分からない程だ。此の事件は、人間が作りだした技術...

木村綾太

---

が悪用されたことにより起きた、正に黒歴史だ。

此の様なことは、二度とあってはならない。

その為に、今ある核兵器には、これから、いっさい手を付けず、二度と核兵器しないようにしなければならない。



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日の原爆先生の話を聞いて原子爆弾とは  
どのようなものなのかよく分かりました。

原子爆弾とは、とてもこわいものだとはい

分かっていただけれる。一瞬にして建物を焼きつくす  
ということを知って、今までの考え方と大きく  
変わりました。想像しただけでもとても  
おそろしく感じるようになりました。

この話を聞いて戦争は二度とやめては  
いけないという理由がよく分かりました。

戦争は、終わっても一生頭に残ってしま

るのでそれが人を苦しませているのだということを知  
って終わったからよかたて終わるわけでは  
ないんだということがよく分かりました。

今日の授業で命の大切さと戦争のおそろしさ  
などを学ぶことができました。

だからこれからはずっといに戦争  
は二度とおきてほしくないと思いました。

もっと多くの人に戦争のおそろしさを  
知って考えてほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

私は、今日の授業をうけ、学んだことや、戦争の苦しさをいろいろ分かったことがある。まずいたみを知った。キズの痛み。このような戦争で死んでしまった人々の心のいたみ。親とはなれて、ひとりぼっちで生きてきた子どもたちのいたみ。このようにいたみはどれも、くやしくて悲しくて、とても痛い。このいたみにたえ、生きようとがんばってきた人がここで生きている。このおすかに残った人々は、つなげていき、このいたみを多くの人たちに伝えていってほしいと思っている。次に爆弾について知った。原爆は、太陽の表面よりも倍にあついと考えられている。ちなみに原爆があちたのは、地上から600mの場所ではくはった。そのはくはつの中心が100万℃らしい。7000℃、3000℃と、600mで下がっていくが地上が3000℃であるため、鉄など簡単にこけてしまう。そのため体中の水分がこぼれ、蒸発して、すみになって消える。そんなこんなな世界の中で生きのびた人もいる。だが、爆弾から出る放射線という光をあびて、「げんぱくしょう」になる。のち死亡。このように、命というものは、糸も簡単に、消えてしまう。人というのは生きているから感情を持ち、言葉を持ち、生きているというあたたかこがあると思ふ。反対にそくな、た人は、感情を持たず、しゃべらず、冷たい。じゃあ何故、生きている人は、必ず死をとげるのか。それは、生きて、生きるという楽しさを得て、死という悲しみを知るためだと思ふ。だから人は生きるという楽し





原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は原火暴先生の話をききました。  
ぼくは、何年か前に家族と広島へ行ま  
した。原火暴ドームや、資料館を見てきました。  
戦争はとてもしかたし人が人を殺す、なん  
てひどい事なのか！発のはくたんで「多くの  
人が」いっしょに死にかけと「かけか」  
で「多くの人が」苦しみ、死んでいった。こんな  
かなしいことは、おこってはいけないとお  
もいました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今回の原爆の授業を通して改めて原爆の怖さを知った。それに具体的な怖さを知ったのははじめてだ。原爆は地上600mの高さの位置に表面温度7000度の球体ができて下の人には3000度の温度をあびるといふ。そんな自然界にも存在しない温度のものを人間は開発したのだ。そしてその攻撃を受けて同じ人間が大量に死んでしまったのだ。それに攻撃をしたのはアメリカ軍の人間だが攻撃を受けたのは戦争に関係のないしよ民たちだ。原爆により戦争に全く無関係な人々が大量に無差別に殺されてしまったのだ。そして戦争に一切関係のない動物も殺してしまった。地球は人間のためにだけあるのではない。人間と生物は共存しながら生きていかないとはいけないのだ。だからこそ尊い命をうばう核兵器はなくすべきだ。と思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日ほくは原爆先生の特別授業を聞いて  
とても悲しい気持ちになりました。14万人  
もの人が死んでしまったことと被爆者が  
24万人もいたことが悲しかったです。おと義三  
さんが死んでしまったことも悲しかったです。  
そして原爆は太陽よりも熱い7000℃をあた  
ることに驚きました。  
戦争は悲しいから戦争はやってほしくないです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今までも、戦争、そして、原子爆弾がおそろしいことだと思っていた。そして、今日、原爆先生の話を聞いて、もおそろしいことだと感じた。この間、図書館の「ヒカドン」という本を読んだ。その本でも、原爆の絵がかかっている。今日見た動画でもあった。白い光がえがかれていた。原爆で、体全体がやけどした人も「ヒカドン」にのっていた。原爆先生が言っていた。体全体がやけどしている人々を想像すると、しゅんげき的だった。原爆先生の父が、広島平和館で、やけどした人間の人形を見て、「きれいすぎる」という言葉が印象に残った。「ヒカドン」の絵を見ても、同じ言葉をつぶやくと思う。そして、印象に残った映像がもう一つある。それは、放射線が広がった、しゅんで、人間がは...になった映像だ。あの映像を想像することは、こう難しいと思う。どこかで、放射線は、人間が電子レンジの中に入っているのと同じということを知ったことがある。今日見たビデオは、まさに電子レンジのように、しゅんに白い光が走った。これで、多くの人々の命がとられた。今日、改めて、戦争や原爆がおそろしいものだと感じた。



# 原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

原爆の話を知ることができて良い経験  
になったと思います。話を聞いている  
だけでもすごく衝撃的で怖かったの  
に実際にその場にいたらどんなに悲し  
くて怖いらうかと想像することが  
できました。上空では約7000℃をこえる  
熱がうたがたと聞いてとても驚きました。  
そんな中に行ったら破壊者にあつてすごく  
恐ろしかった。たぶんうたがたと感じました。でも  
でも戦争は相手のことを理解していつ  
いからなるものだと思います。広島では  
こんなことがあつたけれど、自分たちが  
平和な時代にいることがすごく  
幸せなことなので感じました。こ  
の原爆先生の授業を受講して、平和が  
どれほど大切なのか学びました。こ  
れからも平和を大切にしてゆきたい  
です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日一番びっくりしたのは「ひふがとけておちる」ということです。それほど体が高温になっているにもかかわらず、よく生きていられるなと思いました。最後に見た女性のもけいは今まで見たこともないようなひどいものでした。ひふがとけて、汗をたらし体がこすれないように、手をななめ前にふるさげながら歩く姿はなんともぞんこくでした。でも、それでも実体けん者からしてみれば、押しすぎるもけいのように、とてもびっくりしました。また、空中600mで直径200mにもおよぶばくだんの温度は約100万と地面でも3000とと体けんすることのない温度した。太陽よりもあつい温度なんて..戦争中はとにかくあついのたと思いました。そして何よりもあく、いたく、一生心にきずを負うものたと思いました。原爆先生もいらていたとあり、死体のおいになれるなんてこと、あてはけけないと思ひます。このことを通し、二度と戦争はやらす、やさしい気持ちで世界がっながるよう生きていきます。



名前は裏面に記入してください

# 原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の特別授業を受講して知ったことが三つある。一つ目は「B29爆撃機エノラ・ゲイ」という爆撃機の威力を知ったことだ。約4tにもなる原爆を運んでいたことにすこし恐怖を感じた。二つ目は、広島に投下された原爆「リトルボーイ」の威力だ。リトルボーイは熱線約7000℃という力をもっている原爆。リトルボーイがどれだけの力があることを知った。三つ目は「7000℃の少年」という話だ。この話を聞いて、あらためて原爆がどのような物かを知ることができた。この新しく知った三つのことを知識として頭に入れて、平和がどんだけ幸せか考えたい。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

話をきいて、私は、歴史の中の遠い昔のことだ"と思っ  
いて正直よくわかっていなかたけど、今回のでもと  
戦争のおそろしさや、こわさがわかった気がしました。  
私は、話をきいていてずっとこわくて、戦争で、死となり  
合わせて、池田さんも、ドラムかんが前にあったから、  
予定より、おそかったから原爆を体験したけれど  
軽傷だっただけで、もしも、予定通りだったら？  
ドラムかんが前になかったらこの話もきけなかつた  
かもしれないし、原爆で亡っていたかもしれないから、死と  
なり合わせたと思いました。話は本当にあったことで、実際  
に、原爆で亡った人は、14万人もいたのが80年くらい前に  
あったなんて少し信じられないと思いました。それくらい平和で  
暮らせていることがわかりました。原爆のウランは60kg  
あって1kgしかねんしようしていないのに、広島にいた  
5人に2人が亡たときいて、全部ねんしようしたらと思っ  
とすごくこわくなります。最後のビデオを見て、何十年も前  
なのに、しっかりと覚えていて、忘れられなくて、今でも思い出す  
と泣いてしまうようなことが本当にあったことをおもっし  
りました。





# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の特別授業を受けて、私は原爆の恐しさを改めて知った。戦争中、原爆が投下されたときのことや、その時体験していたときの気持ちなどを知れた。その中で私が特に印象に残ったことは、原爆の温度についてだ。原爆の中心は100万℃。原爆のまわりは7000℃そして直径が200メートルある原爆が、スカイリィーくらいの高さで爆発したらしい。ちなみに太陽は6000℃なので、想像できないような温度だ。そこから私は恐しさを感じる。そうして印象に残ったことがある、それは原爆のいりよくについてだ。原爆のいりよくは「熱線・衝撃波・放射線」だ。私は、全部から恐しさをもとも感じる。私は、お話を聞いただけで「怖恐を感じる」ということは、本当に体験した人はも、と怖かたんだと心から感じる。このようなことから、今回話を聞いて、今はとても平和だと感じ、これからも続いていてほしいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の話を聞いて、自分が  
生まるすつと前に原爆は、広島だけ  
ではなくていろいろな事におちた。  
そこで人々を助けたり、はこんたり、していた  
のは、池田貞徳さんです、原爆がおち  
たのを、目の前でみる、それ人々を助けた  
りする、もしも自分だったらこわすぎて  
身行重力が、とれなさそうです。  
遺体を見つけたとこかに運ぶ  
といった事をしたり、生きている人が  
いたら、けががないかとかをチェック  
をしたりしてもしけががあた人は手  
をして安全な所に運ぶ、という  
事をくりかえす作業が、けっこうつづいた  
もしも自分だったら、途中であきらめ  
てそう、いつ死んでもおかしくない  
場所でも人々を助ける、という事  
は、すごく、すごいと思う



名前は裏面に記入してください

じゅこう  
原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生から伝わってくるばかりに圧迫  
されました。一番こわいと思ったのはかわがくわで遊  
びたことでした。想像しただけでも背筋がゾク  
ゾクとし、さらに先生の足体の衰えかたが、ア  
ッという間に歩いたこと、一番しょうがきで、か  
たまたまのこったのは、衝撃波つまり、ソニックブ  
ームです。つよい衝撃波を直接つけた人間レベル  
だとたまたま地面にたまたまたつたところはない  
だろうか。先生の父が受けた衝撃波はむなり  
とおいしい場所だとか、ふさはさあはほど強  
かったと言っていた。

18さいぐらいの女性を目かけるときは  
たたく感動をたたくかた、(い)が、参加が  
たたくかた、たたく。弟もつよく気負いの  
ある少年だとあの言葉から聞きかた、た  
た。みんが、(い)が、大切な人を  
想い目かけあつたとして原爆のいりやく、はかいやく  
を再石確にし、こわがくわの人生にやくだたせえた  
いいなと思いました。